

DESIGN WORKSHOP

2009

<http://wwwt.suac.ac.jp/~sd/ws/>



SUAC

かぜ  
|テーマ| 風 wind

Create a future in design

Sustainable Design

デザインで未来をつくる

次代を担う高校生のための

**SUACデザインワークショップ2009**

持続可能な社会のためのデザイン

1日目 7|26 SUN 2日目 8|2 SUN

時間 9:30~17:30 会場 静岡文化芸術大学

参加者  
募集

対象 高校生  
地球環境の問題や、暮らしやすい地域づくりについて  
何ができるか、またこれらを伝える方法などを考えること  
に興味のある高校生

申込期限 平成21年7月10日(金)

問い合わせ先 静岡文化芸術大学  
学生室デザインワークショップ係  
浜松市中区中央2-1-1  
TEL.053-457-6121 FAX.053-457-6123  
URL <http://wwwt.suac.ac.jp/~sd/ws/>

主催 静岡文化芸術大学

# DESIGN WORKSHOP 2009

デザインワークショップ2009

## 次代を担う高校生が持続可能な社会のあり方を考える

地球温暖化や資源枯渇などの環境の悪化、貧困や人口増加などの世界的な社会問題、また、国内の高齢化・少子化の進行による社会構造の変化など私たちは今、多くの問題に直面しています。かつて日本には自然と人の暮らしが一体化した循環型社会が作り上げられていました。このような環境と人に優しい“もの”、空間、しくみづくりを、最先端のエコロジー技術などを利用して実現するためのサステナブルデザイン(持続可能な社会のためのデザイン)の普及が求められています。

これらをもとに、次代を担う高校生の皆さんに、近年の大量消費の生活スタイルを見直して、自然と共生した安心して暮らせる持続可能な社会のあり方を考えてもらうためのデザインワークショップを開催します。

今後のサステナブルデザインの普及には、製品や建築のデザインだけでなく、ビジネスや政策としての展開も重要です。デザイン分野に関心を持つ方だけでなく、将来、環境関連ビジネスや公務員として地域づくりに取り組む意思を持つ方たちなど、多くの方の参加を期待しています。

一般的に、TVや雑誌などのマスコミの影響によって、デザイン＝ファッションデザイン、またはグラフィックデザインなどの視覚的なアートとして見られているようです。しかし、本当のデザイン、そしてデザイナーは、社会の幅広い領域で多くの人々の身近な生活を支え、また地球全体の環境にも大きく関わっています。英語のdesign(デザイン)という言葉は、中世ラテン語のdesignare(下地を描く)から転じて「設計する」という意味で用いられています。「造形する」という意味とともに「考える」、「企画する」という意味があることに注目してください。社会的なニーズをふまえた企画段階から、具体的なアイデアの展開とデザイン案のまとめ、そして作品発表までのデザインワークの流れに沿って、デザイン学部教員がわかりやすく指導します。ワークショップ前半は、グループでエコロジカルな生活スタイルや社会的な課題などについて話し合い、デザイン目標を絞り込んでゆきます。後半は、各自でアイデアを出してデザイン案をまとめ、提案として発表します。

**1** 開催日 (1日目)7月26日(日) (2日目)8月2日(日) 9:30~17:30

**2** 開催場所 静岡文化芸術大学

**3** 対象 高校生  
地球環境の問題や、暮らしやすい地域づくりについて何ができるか、またこれらを伝える方法などを考えることに興味のある高校生

**4** 定員/参加費 20名/参加費無料(交通費・昼食は各自負担)

**5** テーマ 「風」

**6** スケジュール

1) 話題提供	サステナブルデザインって何?
2) 課題の抽出	グループで世界や社会の問題を話し合おう
3) 目標の設定	デザイン目標を決めよう!
4) アイデア展開	どうしたら目標にたどりつく?様々な可能性を探る
5) デザイン案まとめ	目標を実現するための手法をまとめる
6) プレゼンテーション	発表資料作り・公開発表

**7** 参加登録 申込用紙を静岡文化芸術大学学生室デザインワークショップ係まで郵送またはFAX

**8** 申込期限 平成21年7月10日(金)

**9** 問い合わせ先 静岡文化芸術大学学生室デザインワークショップ係  
浜松市中区中央2-1-1  
TEL.053-457-6121 FAX.053-457-6123  
<http://wwwt.suac.ac.jp/~sd/ws/>

